

緑化だより

No.177 令和 3年 11月号



オオモミジの紅葉

11月 休園日はありません

- 季節の花(カツラ)
- 昆虫の話(11月のガ)
- 小さな世界こけ
(コケが観察できる場所(16)
アブラゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka 緑化センター

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811

FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp>



季節の花

カツラ

「向(むか)つ峰(お)の 若桂(わかかつら)の木 下枝(しづえ)取り

花待つ(ま)間(ま) 嘆(なげ)きつる(か)も」

作者不詳 万葉集 卷7:1359

これを訳しますと

(向かいの峰に立っている若い桂(かつら)の木のような、初々しいお嬢さん、その下の方の枝を手に取って、花の咲くのを待つ間に、私はため息をついて見守っていたことだよ。)

カツラの新緑は乙女にふさわしく、かわいくて初々しいものです。恋しい少女のまだ成熟していない様子を、若い桂の木にたとえて詠われています。

カツラはカツラ科カツラ属、日本と中国大陸の特産です。カツラとヒロハカツラの2種があり、中国大陸にはカツラの変種が分布しています。北海道、本州、四国、九州に自生している雌雄異株の落葉高木です。冷涼な山地の溪流沿いの水辺を好みます。成長が早く、幹の直径1メートル、高さ30メートル以上の大木になります。



カツラの紅葉

葉が展開する前の4~5月頃、花弁もガクもない小さな赤い花が咲きます。葉は円い心形(ハート型)で、対に並びます。材は家具、楽器、将棋盤、まな板などに利用され、東北地方では、かつては葉を乾燥させて粉状にして抹香が作られていました。溪流沿いの秋の森に入ると、どことなく甘い香が漂ってきます。昔なつかしい綿菓子(わたあめ)の甘い香りに似ています。これはカツラの葉に含まれる「マルトール」という香りの成分によるもので、カツラの黄葉(枯れた葉)や落葉した葉から出ています。



カツラの雄花

緑化センターにもカツラの木がありますので、目を閉じて香りを体感してみましょ。

カツラは春の芽吹き、新緑、黄葉と美しく、季節を問わず楽しむことができます。(上村)

昆虫の話

11月のガ

学生時代にガの収集をはじめた頃、チョウと比べて、その種類が多だけでなく、シーズンオフがないことに驚きました。チョウの活動が停止する晩秋や厳冬期にも、季節の微妙な移り変わりに合わせるように、次々と異なる種類のガが羽化するのです。

さて、今月はキリガの仲間から、晩秋に羽化するウスアオキリガを紹介します。

キリガの一群は、ヤガ科・ヨトウガ亜科に属し、年1回秋期(9~11月)に羽化し越冬するグループ(約55種)と春期(2~4月)に羽化するグループ(約30種)に大別されます。どの種も樹木に寄生し森林地帯に多く見られます。開長30~50mm程度の小型種が多く、概して褐色系の地味な色彩ですが、前翅の斑紋が複雑で味わい深いです。その中で、ウスアオキリ

ガは、前翅が薄緑色で目立つ存在です。ナラ、カシ類につき、紅葉シーズンに羽化します。県内に広く分布しますが、個体数は少ないです。

次に、晩秋にキリガを採集する方法を2通り紹介します。

1つ目はライトトラップです。キリガも他の多くのガと同様、光に集まります。この時期の夜は冷え込みますが、厚めの防寒着をまとい、水銀灯を点灯して、焼酎と鼻水をすすりながら待っていると、林内からポツリポツリとキリガが飛来します。

2つ目は糖蜜トラップです。焼酎に黒砂糖をドロドロに溶かした糖蜜を、樹幹に塗布したり、ボロ布に浸み込ませ枝に掛けておくと、夜間キリガが飛来します。糖蜜の基本的な作り方は皆同じですが、人によってアレンジが異なり、ビールや酢を混ぜる人、腐ったバナナにふりかけて皮ごと枝に引っかける人、高級ブランデーの中でもコニャックやアルマニャックより誘引力の高い洋ナシ系カルバドスを混ぜるとか言う人がいますが、筆者はバニラエッセンスを混ぜて成果をあげています。設置場所と気象条件が良いと、大量に飛来することがあり、明け方、気温が下がると全く動かなくなるので、ごく稀に多数の珍品を一網打尽にできることがあります。

晩秋に焼酎を引っかけてキリガと明かす一夜は、なかなか乙な時間です。(相良)



ウスアオキリガ

小さな世界 こけ

コケが観察できる場所(16)

遊歩道から谷筋の林内に一歩足を踏み入れると、崖や朽ちた枝の間から水が染み出ているところがあります。周辺を見るとタイ類のケゼニゴケ、クモノスゴケやツボミゴケの仲間、セン類のケチョウチンゴケやヒノキゴケなどに混じってアブラゴケが見られることがあります。

アブラゴケは、薄暗い日陰の水が滴る岩や、スギ林などで水がしみ出ている場所に見られます。

葉の大きさ約 3~4 mm、卵型の葉先はとがり、葉の縁のギザギザがなく(全縁)、また葉の中心の線(中肋)もありません。交互に重なるようについているため平たく見え、葉の色はやや白色を帯びた淡い緑色をしています。葉には光沢があり、つやつやして見えることが和名の由来になっています。

アブラゴケは特徴を知ると、他のコケと見間違ふことはないでしょう。(山根)



アブラゴケ



葉の拡大

研修会のご案内

- 11月 2日(火) 『松の手入れ(秋)』
もみあげや秋の手入れを学ぼう
10:00～12:00 学習室 集合
講師：NPO 法人「樹木医ひろしま」
工藤 徹
※ 要予約 (先着 15名)、無料、剪定バサミ、手ノコ持参、雨天中止
- 11月 3日(水・祝) 『ネイチャーゲーム』
～秋を五感で楽しもう～
10:00～15:00 イベント会場 集合
講師：広島シェアリングネイチャーの会
トレーナー 住吉 和子
※ 自由参加、随時受付、無料
- 11月 3日(水・祝) 『樹木の名前当てに
挑戦しよう』
10:00～15:00 イベント会場 集合
講師：緑化センター ボランティア
ふれあい湧
※ 自由参加、随時受付、無料、雨天中止
- 11月 3日(水・祝) 『たね団子を作ろう』
～春咲き草花のたね団子～
11:30～ イベント会場 集合
14:00～
講師：緑化センター職員
※ 自由参加(各先着 20名)、材料費 200円、雨天中止
- 11月 7日(日) 『自由工作塾』
木の実や枝を使って自由に工作しよう
10:00～15:00 レストハウス裏広場 集合
講師：緑化センター ボランティア
ふれあい湧
※ 自由参加、随時受付、雨天中止、材料費 1作品 100円
- 11月 11日(木) 『秋の写真教室』
～秋を写そう～
10:00～12:00 学習室 集合
講師：二科会会員
宗岡 泰昭
※ 要予約 (先着 15名)、無料、カメラ持参
- 11月 12日(金) 『11月の自然探勝』
散策路を歩きながら植物を観察します
10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：緑花文化士
横山 直江
※ 自由参加、無料
- 11月 23日(火・祝) 『整枝・剪定講座』
基本をしっかり身につけよう
10:00～12:00 緑の相談所 集合
講師：樹木医
難波 正孝
※ 要予約 (先着 20名)、無料、剪定バサミ・手鋸持参、見学不可
駐車は多目的広場利用

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、参加者はマスク着用、手・指の除菌、密集・密接を避けるようご注意ください。また状況によっては、研修内容の変更や中止となる可能性があります。ホームページ、お電話等で最新の情報をご確認ください。

☆お知らせ・ご案内☆

- 第25回 みどりの集い 11月 3日(水・祝)
場所：管理事務所周辺及び苗畑 10:00～15:00
- ひろしま遊学の森スタンプラリー2021 秋 ～11月 14日(日)
- もみじ祭り ～11月 14日(日)
- インスタグラム フォトコンテスト 2021 (秋)
応募期間 ～11月 30日(火)
- 第5回ひろしま遊学の森「四季の移ろい」写真コンテスト
- ◎ 展示会 応募期間 ～11月 30日(火)

場所：レストハウス
(ガラスケース展示)

モーモーアート クレイ作品展 11月 2日(火)～ 1月 15日(土)

場所：学習展示館

第10回 ひろしま遊学の森
こども写生大会作品展 11月 13日(土)～12月 10日(金)

紅葉シーズンの交通規制

11月の土、日、祝の車両乗り入れは多目的広場まで
瀬野川、福田方面からは第5駐車場まで。